

外国語科学習指導案

令和4年11月第6学年 指導者 北爪 秀明

1 単元名 NEW HORIZON Elementary English Course Unit6 「Let's think about our food.」

2 単元観

本単元は、「小学校学習指導要領解説外国語編（平成29年告示）」の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕（2）「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」の「ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。」に基づいて設定した。

本単元は、食べ物を通じて日本と世界のつながりを考えることをテーマにしている。言語材料としては、食べ物や国の名前などの語彙と、食べ物の産地や栄養素などを紹介する表現を扱っている。授業の中では、食べ物の産地について伝え合ったり、食べ物がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合わせたりするなど、社会科の食料自給率や家庭科の三色食品群など、他教科で学習した内容と関連付けた活動を展開できる単元となっている。

本町の小学校は小規模校が多く、学級の人数が10人に満たない学級もある。本町には中学校は一校しかないため、卒業後は同じ中学校に進学する。親睦を深め、中学校での生活をスムーズにスタートするために、6年生は毎年、交流会を行っている。今回は、町内のA・B・C小学校の三校で遠隔交流学习を行うが、毎年行っている交流会の一環として行いたい。児童それぞれが考えたオリジナルフードを伝え合う活動を通して、お互いの名前や好みなどを伝え合い、お互いのことをよりよく知ることによって、中学校生活への期待を膨らませる機会としていきたい。

3 単元の目標

お互いのことをよりよく知るためにオリジナルフードに入っている食材やその産地などについて聞き取り、自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。

※なお、本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
＜知識＞ I ate ～、I usually eat ～、 ～ is from …、～ is in the … group. 及びその関連語句など について、理解している。 ＜技能＞ 食材を通じた世界のつながりや食 べ物の栄養素などについて、I ate ～、I usually eat ～、～ is from …、～ is in the … group. 及びその関連語句などを用 いて、お互いの考えや気持ちなど を含めて話す技能を身に付けてい る。	お互いのことをよりよく知るた めに、オリジナルフードに入ってい る食材やその産地などについて、 自分の考えや気持ちなどを含めて 話している。	お互いのことをよりよく知るた めに、オリジナルフードに入ってい る食材やその産地などについて、 自分の考えや気持ちなどを含めて 話そうとしている。

5 指導と評価の計画（全8時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	重点	◇評価項目＜方法（観点）＞ 〔記〕 : 記録に残す評価
つかむ	1	●食べたものをたずねたり答えたりする表現を理解する。 [単元の学習課題] お互いのことをよりよく知るために、オリジナルフードを紹介し合おう。 [本時のめあて] 食べたものについての話を聞き取ろう。 ○登場人物が食べたものについてやり取りをする音声や映像を視聴し、分かったことをワークシートに書く。	知	◇食べたものをたずねたり答えたりする表現を理解している。 ＜行動観察・ワークシート（知）＞
	2	●食材を表す基本的な表現を用いて、オリジナルフードについて伝え合うことができる。 [本時のめあて] オリジナルフードを紹介するための表現を理解しよう。 ○オリジナルフードに入っている食材を伝え合う。	知	◇オリジナルフードの食材について、基本的な表現を用いて伝え合っている。 ＜行動観察（知）＞
追究する	3	●自分の考えや気持ちを含めて、オリジナルフードを紹介することができる。 [本時のめあて] 自分の考えや気持ちを入れて、オリジナルフードを紹介できるようになろう。 ○オリジナルフードの味などをスライドに付けて加えて発表練習に取り組む。	知	◇自分の考えや気持ちなどを含めてオリジナルフードを紹介している。 ＜行動観察（知）＞
	4	●相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルフードを紹介することができる。 [本時のめあて] 相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルフードを紹介しよう。 ○相手に聞こえる声の大きさと話したり、相手の反応を見たりしながらオリジナルフードを紹介する。	態	◇相手に聞こえる声の大きさと話したり、相手の反応を見たりしながらオリジナルフードを紹介しようとしている。 ＜行動観察、振り返りカード（態）＞
	5	●食材の産地についてたずねたり答えたりして伝え合うことができる。 [本時のめあて] 食材の産地をたずねたり答えたりしよう。	知	

		○インタビューゲームを通して、食材の産地をたずねたり答えたりする。		◇食材の産地についてたずねたり答えたりして伝え合っている。 ＜行動観察（知）＞〔記〕
	6	●食材の栄養素グループを伝えるための基本的な表現について理解する。 [本時のめあて] 食材の栄養素グループを伝える表現に慣れよう。	知	
		○ボードゲームを通して、食材の栄養素グループを伝え合う。		◇食材の栄養素グループを伝えるための基本的な表現について理解している。 ＜行動観察（知）＞〔記〕
	7	●分かりやすく伝えるために、話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介することができる。 [本時のめあて] 話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介しよう。	思	
		○オリジナルフードについての内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介する。		◇分かりやすく伝えるために、話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介している。 ＜行動観察（思）＞〔記〕
ま と め る	8	●自分の考えや気持ちを含めてオリジナルフードについて話すことができる。 [本時のめあて] お互いのことをよりよく知るために、オリジナルフードを紹介しよう。	態	
		○食材の産地などを伝えながら、他校の6年生にオリジナルフードを紹介する。		◇自分の考えや気持ちなどを含めてオリジナルフードについて話そうとしている。 ＜行動観察、振り返りカード（態）＞〔記〕

6 第1時の展開

(1) ねらい

食べたものをたずねたり答えたりする表現を理解する。

(2) 準備


教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード


(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 単元の課題と本時のめあてをつかむ。 ○教師の実演により、単元の課題をつかむ。 [☆]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original <u>curry</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u> and <u>beef</u> are in my curry. The <u>onions</u> are from <u>Hyogo</u>. <u>Onions</u> are in the <u>green</u> group. The <u>carrots</u> are from <u>Gunma</u>. <u>Carrots</u> are in the <u>green</u> group. The <u>beef</u> is from <u>Australia</u>. <u>Beef</u> is in the <u>red</u> group. It's <u>delicious</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[単元の課題]</p> <p>お互いのことをよりよく知るために、オリジナルフードを紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ中学校に進学する友達のことを早く知りたいな。 ・みんなはどのようなオリジナルフードを紹介するのか楽しみだな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>食べたものについて話を聞き取ろう。</p> </div>	<p>◎Web会議システムを用いて単元の課題を解決する姿を提示することで、単元の課題を解決する姿を児童が具体的にイメージできるようにする。</p> <p>○聞き取れた英単語や会話の場面を確認することで、対話の概要や、場面、状況を把握できるようにする。</p>
展 開 ① 15 分	<p>3 試しの活動に取り組む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜試しの活動例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. This is my original <u>curry</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u>, <u>beef</u> are in my <u>curry</u>. It's <u>delicious</u>.</p> </div> <p>4 新出語彙や基本表現の音声に慣れ親しむ。 ○ALTの後に続いて食材に関する英単語を復唱する。 ○Starting Out (リスニング) に取り組む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜Starting Out のやり取り例＞</p> <p>A: What did you eat for breakfast this morning? B: I ate natto, rice and miso soup. A: Oh, really? Do you usually eat natto for breakfast? B: Yes, I do. Natto is very healthy. A: That's a Japanese-style breakfast.</p> </div>	<p>○試しの活動を通して、オリジナルフードを詳しく紹介するには、食材に関する語彙や表現を学習する必要があると感じさせる。</p> <p>○登場人物が食べたものを正確に聞き取らせるために、事前に食材の言い方を確認してからリスニングに取り組ませる。</p>

<p>展開 ② 15 分</p>	<p>5 言語活動に取り組む。</p> <p>○ペアで端末を用いて、基本表現を練習する。[☆]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><基本表現の練習></p> <p>①端末のスライドを見ながら、昨夜食べたものについてたずね合う。</p> <p>②終わったら、役割を交替して①に再度取り組む。</p> <p>S1: What did you eat last night? S2: I ate <u>okononiyaki</u> last night.</p> </div> <p>○昨夜、食べた物を友達とたずね合うインタビュー活動をする。[☆]</p> <p>※やり取りは、上記の<基本表現の練習>と同様。</p>	<p>●たずね方や答え方などが分からないときは、端末に収めている音声を確認しながら進める。</p> <p>○決められた時間内で基本表現の練習を繰り返し行うが、話す速さを意識させるのではなく、正確な表現の発話を意識させて練習に取り組ませる。</p> <p>○やり取りをする際は、相手が言ったことを繰り返させたり、あいづちを打ったりさせることで、円滑なやり取りができるようにする。</p> <p>◇食べたものをたずねたり答えたりする表現を理解している。</p> <p style="text-align: center;"><行動観察・ワークシート（知）></p>
<p>まとめ 5 分</p>	<p>6 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルフードを早く考えたいな。 ・オリジナルフードのことをくわしく紹介できるようにがんばろう。 ・●●小学校の6年生と早く英語で話してみたいな。 	<p>○単元の課題を達成するために学ぶ必要のある表現や伝える時に意識したいことなどを書かせる。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>

(4) 板書計画


Weather


Day
Tuesday 







Date
November 1st

めあて：食べたものについての話を聞き取ろう。

A: What did you eat last night?

B: I ate  last night.

食材の絵カード

7 第2時の展開

(1) ねらい

食材を表す基本的な表現を用いて、オリジナルフードについて伝え合うことができる。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード


(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Sing】What did you eat? ○【Let's Chant】Are you hungry?	○歌とチャンツに取り組ませることで、オリジナルフードを伝えるための表現の音声に慣れ親しませる。
	<p style="text-align: center;">【Let's Sing】</p> <p>What did you eat? What did you eat? What did you eat for breakfast (dinner)? What did you eat? What did you eat? What did you eat for breakfast (dinner)? I ate rice (chicken). Where was it from? It was from Niigata (Aichi). I ate salmon (kiwi fruit). Where was it from? It was from Norway (New Zealand). What did you eat? What did you eat? What did you eat?</p>	
	<p style="text-align: center;">【Let's Chant】</p> <p>Are you hungry? Yes, I am. Beef curry, miso soup, oden! Potatoes, tomatoes, ramen! The beef is from Australia. Really? I like beef curry. The potatoes are from Hokkaido. Really? I like potatoes. The tomatoes are from Kumamoto. Really? I like tomatoes. The shoyu ramen is from Chiba. Really? I like shoyu ramen.</p>	
	3 スモールトーク ○昨夜の夕食についてたずね合う。	○教師がモデル会話を提示し、全体で発話練習してからやり取りをさせることで、どのようなやり取りをすればよいかを把握させる。
展 開 ① 15 分	4 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original <u>curry</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u>, <u>apples</u> and <u>beef</u> are in my <u>curry</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[本時のめあて] オリジナルフードを紹介するための表現を理解しよう。</p> </div>	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○オリジナルフードの食材を伝えるための表現を用いて発表をする様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。

	<p>5 新出語彙や基本表現の音声に慣れ親しむ。</p> <p>○A L Tの後に続いて食材に関する英単語を復唱する。</p> <p>○ペアになり、オリジナルフードに入っている食材を伝え合う練習をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><食材を伝え合う練習の進め方></p> <p>①机の上に広げた食材カードから3枚カードを取る。</p> <p>②取ったカードに合わせてオリジナルフードの食材を英語で言う。 (例) <u>Onions</u>, <u>carrots</u>, and <u>beef</u> are in my curry.</p> <p>③役割を交替して①②に再度取り組む。</p> </div>	<p>○飽きることがないよう、テンポよく行う。</p> <p>●英語での食材の言い方が分からない場合は、友達に聞いたり、端末に収めてある音声を確認させたりする。</p> <p>◇オリジナルフードの食材について、基本的な表現を用いて伝え合っている。 <div style="text-align: right;"><行動観察（知）></div></p>
展開② 15分	<p>6 スライド編集と言語活動に取り組む。</p> <p>○オリジナルフードに入っている食材の写真やイラストをスライドに入れる。[☆]</p> <p>○スライドが完成した児童は、オリジナルフードを紹介する動画を撮り合う。[☆]</p>	<p>○オリジナルフードを紹介するスライド例を児童に送付しておくことで、短時間でスライド作成ができるようにする。</p> <p>○自分の発表の様子を客観的に見させることで、自分の課題に気付けるようにする。</p>
まとめ 5分	<p>7 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ自信をもってオリジナルフードを紹介することはできないな。 ・みんなはどのような食材を入れているのか知りたいな。 	<p>○オリジナルフードに入っている食材について伝えることができたかどうかを振り返らせる。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>


(4) 板書計画





めあて：オリジナルフードを紹介するための表現を理解しよう。

Weather








Day
 Wednesday

Date
 November 2nd

This is my original  .

 ,  and  are in my  .

食材の絵カード

8 第3時の展開

(1) ねらい

自分の考えや気持ちを含めて、オリジナルフードを紹介することができる。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Sing】What did you eat? ○【Let's Chant】Are you hungry? ※歌詞は第2時に同じ 3 スモールトーク ○普段の朝食についてたずね合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜会話例＞</p> <p>A: What do you usually have for breakfast?</p> <p>B: I usually have <u>rice, miso soup and natto</u>.</p> </div>	○歌とチャンツに取り組ませることで、オリジナルフードを伝えるための表現の音声に慣れ親しませる。 ○教師がモデル会話を提示し、全体で発話練習してからやり取りをさせることで、どのようなやり取りをすればよいかを把握させる。
展 開 ① 10 分	4 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello, I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>.</p> <p>This is my original <u>curry</u>.</p> <p><u>Onions, carrots, apples and beef</u> are in my <u>curry</u>.</p> <p>It's <u>delicious</u>.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>自分の考えや気持ちを入れて、オリジナルフードを紹介できるようになろう。</p> </div>	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○オリジナルフードの味などを伝える表現を用いて発表する様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。
	5 基本表現に慣れ親しむ。[☆] ○端末を使って味を表す基本表現を練習する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜基本表現の例＞</p> <p>This is my original <u>curry</u>.</p> <p><u>Onions, carrots, apples and beef</u> are in my <u>curry</u>.</p> <p>It's <u>delicious</u>.</p> </div>	○スムーズに練習できるようにするために、復唱練習をしてから個人で発音練習に取り組ませる。 ●表現が分からない場合は、端末に収めてある音声を聞いて復唱するようにさせる。
展 開 ② 20	6 スライド編集と言語活動に取り組む。 ○オリジナルフードの味などをスライドに付け加えて発表練習に取り組む。[☆] ※発表は、前ページの＜オリジナルフードの発表例＞と	○自分が話す内容を相手によりよく伝えるために、声の大きさを工夫したり、相手の反応を確かめたり

分	<p>同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が思っていた以上に声が小さかったみたいだな。相手に伝わるようにもう少し声の大きさを調整してみよう。 ・〇〇くんは、相手が聞き取りやすいように声の大きさを工夫したり、相手の反応を確認したりしながら発表していたな。ぼくも〇〇くんのような発表ができるようにしたいな。 	<p>しながら話すといいことを児童に伝える。</p> <p>◎Web会議システムを用いてペアで発表練習に取り組ませることで、音声の伝わり方などを確認させ、互いの発表のよさや課題などをフィードバックさせる。</p> <p>◇自分の考えや気持ちなどを含めてオリジナルフードを紹介している。 <行動観察(知)></p>
まとめ 5分	<p>7 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや話す速さなど、自分の課題を見つけることができたから、それを改善して発表できるようにしたいな。 ・●●小学校の子は、どのようなオリジナルフードを紹介するのか楽しみだ。 	<p>○自分の考えや気持ちを入れて、オリジナルフードを紹介できたかどうかを振り返らせる。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>

(4) 板書計画

めあて：自分の考えや気持ちを入れて、オリジナルフードを紹介できるようになろう。

Weather



This is my original .

Day

Thursday



,



and



are in my



Date

November 3rd

It's .

味の絵カード



9 第4時の展開

(1) ねらい

相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルフードを紹介することができる。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 3 分	1 挨拶をする。 ○手を振って各校の先生や児童に挨拶する。	○ALTから各校の児童に挨拶をしてもらい、それに応答させる。
展 開 ① 10 分	2 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Tom</u>. I like <u>Japanese anime</u>.</p> <p>This is my original <u>hamburger</u>.</p> <p><u>Avocados</u>, <u>cheese</u> and <u>beef</u> are in my <u>hamburger</u>.</p> <p>It's <u>delicious</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルフードを紹介しよう。</p> </div>	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○「相手に聞こえる声の大きさと話す」「相手の反応を見ながら話す」など、相手意識をもって発表することを意識させる。
展 開 ② 27 分	3 交流活動に取り組む。 ○グループごとにオリジナルフードの発表と質問のやり取りをする。[☆] <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜交流活動の流れ＞</p> <p>①グループに分かれ、オリジナルフードを一人ずつ発表する。 ※資料を提示しながら発表を行う。 ※発表は、＜オリジナルフードの発表例＞と同様。</p> <p>②グループ内で質問をし合う。</p> <p>例</p> <p>A校児童①②③ : What <u>sport</u> do you like?</p> <p>B校児童① : I like <u>soccer</u>.</p> <p>B校児童② : I like <u>basketball</u>.</p> <p>B校児童③ : I like <u>table tennis</u>.</p> <p>③オリジナルフードの発表に対するALTのコメントを聞く。</p> </div> <p>・相手の反応を見ながら発表をすることができた。</p> <p>・緊張していたので、速く話してしまった。</p>	○質問はA校→B校、B校→A校の順序で交互に行わせる。質問する時は全員で行い、答える時は個々で順に答えさせることで、全員が発話できる機会を確保する。 ○発表意欲を高めるために、児童のがんばりを称えるコメントを伝えよう。 ○オリジナルフードの栄養バランスのことなど、新たな情報を知りたいことをALTから児童に伝えてもらうことで、2回目の遠隔交流学習への意欲を高めさせる。 ◇相手に聞こえる声の大きさと話したり、相手の反応を見たりしながらオリジナルフードを紹介しようとしている。 ＜行動観察、振り返りカード (態)>

まとめ	<p>4 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人の立場になって、分かりやすく発表することができた。 ・他の学校の友達に英語で発表するのは初めてだったので、とても緊張したけど、友達のことが知れて楽しかった。 ・緊張していたので、話すスピードが速くなってしまった。次回は、もう少し落ち着いて相手が聞き取りやすいように話せるようにしよう。 	<p>○遠隔交流学习についての感想を記述させる。</p> <p>○自己の課題を把握させ、その課題を2回目の遠隔交流学习に生かすようにする。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>
-----	---	--

(4) 板書計画

めあて：相手に伝わるようにくふうしながら、オリジナルフードを紹介しよう。

Weather



Day

Friday



Date

November 4th

This is my original .

, and are in my .

It's .

相手に伝わるような工夫

・声の大きさ



・話す速さ

・相手の反応



10 第5時の展開

(1) ねらい

食材の産地についてたずねたり答えたりして伝え合うことができる。

(2) 準備


教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Sing】What did you eat? ○【Let's Chant】Are you hungry? ※歌詞は第2時に同じ 3 スモールトーク ○好きな野菜についてたずね合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜会話例＞</p> <p>A: What vegetable do you like?</p> <p>B: I like <u>tomatoes</u>.</p> </div>	○歌とチャンツに取り組ませることで、オリジナルフードを伝えるための表現の音声に慣れ親しませる。 ○教師がモデル会話を提示し、全体で発話練習してからやり取りをさせることで、どのようなやり取りをすればよいかを把握させる。
展 開 ① 15 分	4 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original <u>curry</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u> and <u>beef</u> are in my curry. It's <u>delicious</u>. The <u>onion</u> is from <u>Hyogo</u>. The <u>carrot</u> is from <u>Gunma</u>. The <u>beef</u> is from <u>Australia</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0; background-color: #f0f0f0;"> <p>[本時のめあて] 食材の産地をたずねたり答えたりしよう。</p> </div> 5 新出基本表現に慣れ親しむ。 ○ALTの後に続いて、復唱する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜基本表現の例＞</p> <p>The <u>onion</u> is from <u>Hyogo</u>.</p> </div> ○インタビューゲームを通じて、食べ物の産地を伝える表現に慣れる。	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○食材の産地を伝える表現を用いて発表する様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。 ○食材や産地を替えて何度も練習させることで、新出基本表現に慣れさせる。 ○多くの児童と質問し合うと、より多くのビンゴができるワークシートにすることで、楽しみながら新出基本表現を何度も発話できるようにする。

	<p style="text-align: center;"><インタビューゲームの進め方></p> <p>①児童にワークシートと食材のイラストと産地が記載してあるカードを一枚ずつ配る。</p> <p>②児童は相手を探し、Where is the <u>beef</u> from? と知りたい食材の産地を相手にたずねる。</p> <p>③質問をされた児童はカードを見て、The <u>beef</u> is from <u>Australia</u> と、その食材の産地を相手に伝える。</p> <p>④聞き取った食材の産地をワークシートに記入する。</p> <p>⑤役割を交替し、①～④に再度取り組む。</p>	<p>●産地をたずねたり答えたりする表現が分からない場合は、端末に収めてある音声を再度確認させる。</p> <p>◇食材の産地についてたずねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察（知）></p>
展開② 15分	<p>6 スライド編集と言語活動に取り組む。 [☆]</p> <p>○前時までのスライドに食材の産地を付け加えて、発表練習に取り組む。</p> <p>※発表は、前頁の<オリジナルフードの発表例>と同様。</p>	<p>○be動詞のisとareの使い分けを混同する児童がいると予想されるので、食材は全て単数で入力をさせる。</p>
まとめ 5分	<p>7 振り返りをする。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地をたずねたり答えたりする表現を使って、友達にインタビューすることができた。 食材は何種類もあるから伝えるのが結構大変だな。 	<p>○食材の産地をたずねたり答えたりすることができたかどうかを振り返らせる。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>



(4) 板書計画


Weather




Day
Monday 

Date
November 7th







めあて：食材の産地を伝える表現に慣れよう。

The  is from .

The  is from .

The  is from .

食材の絵カード

11 第6時の展開

(1) ねらい

食材の栄養素グループを伝えるための基本的な表現について理解する。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード


(3) 展開


時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Sing】What did you eat? ○【Let's Chant】Are you hungry? ※歌詞は第2時に同じ 3 スモールトーク ○今朝の朝食についてたずね合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><会話例></p> <p>A: What did you eat this morning?</p> <p>B: I ate <u>sandwiches</u> this morning.</p> </div>	○歌とチャンツに取り組ませることで、オリジナルフードを伝えるための表現の音声に慣れ親しませる。 ○教師がモデル会話を提示し、全体で発話練習してからやり取りをさせることで、どのようなやり取りをすればよいかを把握させる。
展 開 ① 20 分	4 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><オリジナルフードの発表例></p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original <u>curry</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u> and <u>beef</u> are in my <u>curry</u>. It's <u>delicious</u>. The <u>onion</u> is from <u>Hyogo</u>. <u>Onion</u> is in the <u>green</u> group. The <u>carrot</u> is from <u>Gunma</u>. <u>Carrot</u> is in the <u>green</u> group. The <u>beef</u> is from <u>Australia</u>. <u>Beef</u> is in the <u>red</u> group. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; background-color: #f0f0f0;"> <p>[本時のめあて] 食材の栄養素グループを伝える表現に慣れよう。</p> </div> 5 新出基本表現に慣れ親しむ。 ○ALTの後に続いて、復唱する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><基本表現の例></p> <p><u>Beef</u> is in the <u>red</u> group.</p> </div> ○ボードゲームを通して、食材の栄養素を伝える表現に慣れる。	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○食材の栄養素グループを伝える表現を用いて発表する様子を見せることで、本時の活動の見通しをもたせる。 ○食材を替えて何度も練習させることで、新出基本表現に慣れ親しませる。 ○ボードゲームを通して食材の栄養素を伝える表現を練習させることで、楽しみながら新出基本表現に慣れ親しませる。

	<p style="text-align: center;"><ボードゲームの進め方></p> <p>① 4人のグループになる。</p> <p>② サイコロを振り、出た目の数だけ自分の駒を進める。</p> <p>③ 止まったマスを確認し、Beef is in the red group.と、その食材の栄養素グループを言う。</p> <p>④ 役割を交替し、②③に再度取り組む。</p>	<p>● 栄養素グループを伝える表現が分からない場合は、同じグループ内で教え合うように助言する。</p> <p>◇ 食材の栄養素を伝えるための基本的な表現について理解している。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察（知）></p>
展開② 10分	<p>6 スライド編集と言語活動に取り組む。</p> <p>○ 前時までのスライドに食材の栄養素グループを付け加えて、発表練習に取り組む。[☆]</p> <p>※ 発表は、<オリジナルフードの発表例>と同様。</p>	<p>○ 食材の栄養素グループが分からない場合は、インターネットで調べてもよいこととする。</p>
まとめ 5分	<p>7 振り返りをする。[☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の栄養素を伝える表現が分かったぞ。 ・ ぼくのカレーは栄養バランスがよさそうだな。 	<p>○ 食材の栄養素グループを伝える表現に慣れることができたかどうかを振り返らせる。</p> <p>○ 振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>



(4) 板書計画



めあて：食材の栄養素グループを伝える表現に慣れよう。



Weather


Day
Tuesday 




Date
November 8th




 is in the  group.

 is in the  group.

 is in the  group.

食材の絵カード

12 第7時の展開

(1) ねらい

分かりやすく伝えるために、話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介することができる。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード

(3) 展開


時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 10 分	1 挨拶をする。 2 ウォームアップ ○【Let's Sing】What did you eat? ○【Let's Chant】Are you hungry? ※歌詞は第2時に同じ 3 スモールトーク ○好きなお菓子についてたずね合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><会話例></p> <p>A: What snack do you like?</p> <p>B: I like <u>cookies</u>.</p> </div>	○歌とチャンツに取り組ませることで、オリジナルフードを伝えるための表現の音声に慣れ親しませる。 ○教師がモデル会話を提示し、全体で発話練習してからやり取りをさせることで、どのようなやり取りをすればよいかを把握させる。
展 開 ① 15 分	4 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時のめあてを推測する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><1回目のオリジナルフードの発表例></p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original curry. It's <u>delicious</u>. <u>Onions</u>, <u>carrots</u> and <u>beef</u> are in my curry. The <u>onion</u> is from <u>Hyogo</u>. <u>Onion</u> is in the <u>green</u> group. The <u>carrot</u> is from <u>Gunma</u>. <u>Carrot</u> is in the <u>green</u> group. The <u>beef</u> is from <u>Australia</u>. <u>Beef</u> is in the <u>red</u> group. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><2回目のオリジナルフードの発表例></p> <p>Hello. I'm <u>Hideaki</u>. I like <u>baseball</u>. This is my original curry. <u>Onions</u>, <u>carrots</u> and <u>beef</u> are in my curry. I like <u>carrots</u> very much. Do you like <u>carrots</u>? The <u>onion</u> is from <u>Hyogo</u>. <u>Onion</u> is in the <u>green</u> group. The <u>carrot</u> is from <u>Gunma</u>. <u>Carrot</u> is in the <u>green</u> group. The <u>beef</u> is from <u>Australia</u>. <u>Beef</u> is in the <u>red</u> group. It's <u>delicious</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[本時のめあて] 話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介しよう。</p> </div>	○教師が二つの発表を提示することで、話す内容や順序を工夫することが本時の学習のめあてであることを把握させる。
	5 話す内容や順序を見直す。 ○話す内容を見直し、必要があれば修正をする。 [☆]	○“Do you like carrots?”などの簡単な質問を付け加えさせることで、相手の意識を引き付けるようにさせる。

	○話す順序を見直し、必要があれば修正する。 [☆]	○話す順序を整理させることで、相手に分かりやすく伝わるようにする。
展開② 15分	<p>6 言語活動に取り組む。</p> <p>○ペアになり、3回発表練習に取り組む。（3回とも違う相手） [☆]</p> <p>※発表は、＜オリジナルフードの発表例＞と同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速くて聞き取りづらいところがあったから、もう少しゆっくり話すといいよ。 ・●●くんは、話す順序を変えたり、スライドを見やすくしていたりと、様々な工夫していたな。ぼくもオリジナルフードがより相手に伝わりやすくなるような発表にしよう。 	<p>◎Web会議システムを用いてペアで発表練習に取り組ませることで、音声の伝わり方などを確認させ、フィードバックさせ合う。</p> <p>○2回目が終わった後に学級全体で中間の振り返りを行い、お手本となる児童の発表を見させることで、よさを自分の発表に反映させる。</p> <p>◇分かりやすく伝えるために、話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介している。</p> <p>＜行動観察（思）＞ [記]</p>
まとめ 5分	<p>7 振り返りをする。 [☆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な質問を入れて発表ができた。 ・ぼくが紹介するオリジナルカレーは「辛い」ということを強調したいから、味については最後に伝えることにした。 	<p>○分かりやすく伝えるために話す内容や順序をどのように工夫したかを記述させる。</p> <p>○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かせるようにする。</p>

(4) 板書計画


めあて：話す内容や順序を見直し、オリジナルフードを紹介しよう。

Weather



Day

Wednesday



Date


November 9th

＜見直す点＞

①内容
→I like~.や Do you like~?などの表現を使ってみよう！

②順序
→相手に伝わりやすくなるように整理をしながら話そう！

食材の絵カード



13 第8時の展開

(1) ねらい

自分の考えや気持ちを含めてオリジナルフードについて話することができる。

(2) 準備

教科書、ピクチャーディクショナリー、TV、教師用PC、端末、絵カード、ワークシート

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導 入 3 分	1 挨拶をする。 ○手を振って各校の先生や児童に挨拶をする。	○ALTから各校の児童に挨拶をしてもらい、それに応答させる。
展 開 ① 10 分	2 本時のめあてを確認する。 ○教師の発表から本時の活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜オリジナルフードの発表例＞</p> <p>Hello. I'm <u>Tom</u>. I like <u>Japanese anime</u>. This is my original <u>hamburger</u>. <u>Avocados</u>, <u>cheese</u> and <u>beef</u> are in my hamburger. Do you like <u>avocados</u>? I like <u>avocados</u> very much. The <u>avocado</u> is from <u>Mexico</u>. The <u>avocado</u> is in the <u>green</u> group. The <u>cheese</u> is from <u>Hokkaido</u>. The <u>cheese</u> is in the <u>red</u> group. The <u>beef</u> is from <u>America</u>. The <u>beef</u> is in the <u>red</u> group. It's <u>delicious</u>. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>お互いのことをよりよく知るために、オリジナルフードを紹介しよう。</p> </div>	○教師の実演を通して発表を提示することで、本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるようにする。 ○1回目の遠隔交流学习で感じた課題を児童が改善・意識して発表に取り組めるようにするために、発表時に意識することをワークシートに記述させる。
展 開 ② 27 分	3 交流活動に取り組む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜交流活動の流れ＞</p> <p>①グループに分かれ、オリジナルフードを一人ずつ発表する。 ※資料を提示しながら発表を行う。 ※発表は、＜オリジナルフードの発表例＞と同様。</p> <p>②グループ内で質問をし合う。</p> <p>例</p> <p>A校児童①②③ : What <u>sport</u> do you like?</p> <p>B校児童① : I like <u>soccer</u>.</p> <p>B校児童② : I like <u>basketball</u>.</p> <p>B校児童③ : I like <u>table tennis</u>.</p> <p>③オリジナルフードの発表に対するALTのコメントを聞く。</p> </div> <p>・1回目の発表でうまくいかなかったところを直すことができたし、前回よりも多くの情報を分かりやすく伝えることができた。</p>	○質問はA校→B校、B校→A校の順序で交互に行わせる。質問をたずねるときは全員で行い、答えるときは個々で順に答えさせることで、全員が発話できる機会を確保する。 ○児童のがんばりを称えるコメントをALTにしてもらうことで、外国語学習への意欲を高める。 ◇自分の考えや気持ちなどを含めてオリジナルフードについて話そうとしている。 ＜行動観察、振り返りカード (主)＞[記]

まとめ	4 振り返りをする。[☆] ・オリジナルフードの紹介を聞いて、他校の友達のことについて知ることができた。 5 ・たくさんの友達と英語で交流ができて楽しかった。 分 ・今回の交流を通して、英語を話すことに少し自信がもてた。	○遠隔交流学习についての感想を記述させ、今後の学習に活かすようにさせる。 ○振り返りを共有し、他者の振り返りの内容を自分の学びに生かすようにする。
-----	---	--

(4) 板書計画

めあて：お互いのことをよりよく知るために、オリジナルフードを紹介しよう。

Weather



Day

Thursday



Date

November 10th

<学習の進め方>

①オリジナルフード紹介

→相手に伝えることを意識しよう！

→リアクションを取りながら発表を聞こう！

②質問タイム

→たずねる時は全員で、答える時は一人ずつ

食材の絵カード

